

<白金標準先物、0.382 を達成し 0.5 の 4244 円へ・・・>



(出所：オアシス)

米国のインフレ抑制の長期化で景気後退懸念など景気商品の白金価格は 3930 円まで売り込まれているが、中国の製造業 PMI や非製造業 PMI が好不景気の分岐点である 50 を上回りながら前月からの伸びを見せている。また米国経済指標も景気後退に備える思惑を強めていたが、経済指標は好転する動きを見せ、リセッションの思惑売りが仇となり、巻き戻しの動きを強めてきている。

特に来週は WPIC 第 4 四半期 PGM 需給報告 & 通期報告が控えており、世界の 7 割のプラチナ供給を行なっている南アフリカの電力不足は 11 月以降も悪化する動きを示すなど、第 3 四半期の報告で指摘した 9 トンの供給不足予想を上方修正する可能性は高まると見られる。そのため 2 月 3 日のサプライズの雇用統計を受けた下値追いの相場が、週末には 4197 円まで戻りを見せており、雇用統計以前の価格水準である 4240 円を回復するのも時間の問題と思える。

特に黄金比で示す 4558 円から 3930 円までの 628 円の下落幅に対する 0.382 の戻りを計算すると 4170 円であり、週末には達成した事で次の目標である 0.5 の 4244 円が次の目標と見られ、来週は雇用統計以降の下落を埋める週になる可能性は強まると思える。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** と **シグナル** が上昇しており、RCI でも **短期** が高い水準を維持しながら **長期** が上昇するなど、オシレーターは強気の域の中である。特に日足が **40 日移動平均線** に届いており目先の調整は予想されるが、4100 円を下回る確率は低くなると思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 4,500,000 円(2023 年 3 月 6 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 37,620 円(2023 年 3 月 6 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>